【凡例】
- 市町村・公共施設等に関連する事項
- 学校等に関連する事項
- 企業等・銀行・鉄道に関連する事項

大分市・大分県の事項

時代	年	月	大分市・大分県の事項
大正	2	1	大分市長(第三代)に高田保が就任する(その後、第五・八代もつとめる)
西暦	1913	3	鶴崎倶楽部(鶴崎の商工業活動の拠点)が発足する
	3	10	二十三銀行新社屋(現大分銀行赤レンガ館)が竣工する
	1914	3	大分紡績株式会社が一部操業を開始する(翌年四月、全面操業)
		4	大分・坂ノ市間にバス運行が始まる
		10	滝尾・中判田駅が開業する 犬飼線軽便線大分・中判田間が開通 佐伯線大分・幸崎間が開通、高城・鶴崎・坂ノ市駅開業する
	4	12	大分港の築港が完成する 大湯線大分・小野屋間開通、南大分・賀来駅が南大分・賀来駅が開業する
	1915	10	勢家に大分県立工業徒弟学校(現大分工業高校の前身)が移建される
	5	9	この年、大分商工会創設　民間飛行機初めて飛来する
	1916	9	犬飼軽便線中判田・竹中間開通、竹中駅が開業する
	6	3	東上市町に市庁舎を新築する
	1917	3	市立大分商業学校(現大分商業高校の前身)開校する
		4	片倉組大分製糸所が操業を始める 大和組豊後製糸所が創業する
		7	犬飼軽便線竹中・犬飼間が開通する
	7	8	大分市長(第二代)に三浦数平が就任する
		8	別府・臼杵での米騒動のため、大分・鶴崎などでも不穏の動きあり
	1918	9	第七十二連隊がシベリア出兵(翌年の二月に田中支隊がユフタで全滅する)
	9	11	大分市公設市場が開設される
	1920	1	佐賀市村が町制施行、坂ノ市町となる
		9	大分駅間から新川までの電車通り延長工事が完成する
		10	大分市が下水道工事に着手する
	10	1	戸次村が町制施行、戸次町となる
	1921	2	大分県庁舎が新築される
		3	九州沖縄八県連合共進会が開かれる
		4	盲啞学校が県立に移管される
	11	2	大分紡績株式会社が富士瓦斯紡績株式会社の大分工場となる
		3	別大電車の新川・かんたん間の営業はじまる
	1922	4	大分高等商業学校第一回入学式行われる 東大分村の一部を大分市が編入する
		10	別府的ヶ浜事件おこる 大分信用組合・府内信用組合が創業する
		12	大湯線が国有化され、久大本線となる
	12	3	恐慌により大分銀行が休業する 市立避病院改築、上野病院と改称する
	1923	4	下水道が完工する 日豊本線が全通する
		1	県立工業学校鶴崎分校を設置する
	13	3	大分銀行が再開される 大分青物乾物市場が開設される
	1924	11	大分県水平社創立大会が別府豊玉館で行われる
		4	大在駅が開業する
	14	5	大分市が都市計画法施行都市に指定される
	1925	4	第七十二連隊廃隊、歩兵第四十七連隊大分に移駐する
	15	4	大分市が上水道を起工する
	1926		

年	西暦	日本の事項
3	1914	第一次世界大戦に参戦する
7	1918	シベリア出兵 米騒動がおこる
9	1920	常任理事国として国際連盟に加盟
11	1922	全国水平社が結成される
12	1923	関東大震災
14	1925	ふたたび護憲運動がおこる(第二次) 治安維持法の公布 普通選挙法の公布 男子普通選挙権の実現